



医師：島田 潔

「勝海舟」は泰然とした人格を備え、近代日本を守った人です。勝が神戸で作った「海軍塾」の塾頭が坂本龍馬です。江戸城の無血開城の和平をまとめ、江戸町民の多くの命が守られました。世界史としても非常に珍しい史実となっています。



医師：藤井 秀樹

好きというより気になっているのが諸葛孔明です。ある時、糸山先生に「藤井先生は諸葛孔明のような人ですね」と言われ、歴史に詳しくない私は調べてみましたが糸山先生が孔明のどこの部分を言っているのか未だに分かりません(笑)



医師：浅海 直

野見宿禰(のみのすくね)です。垂仁天皇の命により、角力(今の相撲の元祖)天覧試合を行い勝った格闘家であり、日本のあらゆる武道のルーツと言われる人です。(日本書紀の中の話)



医師：安井 宏仁

「好きなテニス史上」の人物ですが、ラファエル・ナダルです。まだ現役で、既にグランドスラム(テニスの大きな大会)で20回優勝しており、歴史に残る選手であることに間違いはないのですが、彼の魅力は全てのポイントに全力でプレーしているところです。コロナのさなか、勇気をもらっています。



医師：御子柴 路朗

学生の頃は、ギリシャ哲学やギリシャ神話など好きだったので、ソクラテス、アリストテレスなど当時の哲学者は好きでした。その後も哲学者の人の話は好きでしたが、なかなか直接書かれた書物は難しく完読した物はありませんでしたが……



医師：長谷川 大輔

歴史上有名な偉人達はその時代背景とマッチしたことが多いと思います。そういう中でレオナルドダヴィンチは多彩な才能を見せていると思います。ただ、その当時は認められなかった不器用さもあります。



医師：宇仁 淳

尊敬する人ではありませんが、幼少期から僕の世代はノストラダムスの大予言に振り回されました。以前どんな人物なのかと調べてみたら、同業者の医師でベストが大流行したときに社会に貢献した人物でした。



医師：鈴木 陽一

私が好きなのは「真田幸村」です。子供の時に、『真田十勇士』という番組があり、少ない精鋭が技と知力で戦うという内容でした。数年前の大河「真田丸」も良かったですね。



医師：伊藤 直

志村けんです。小さい頃からたくさん笑わせてもらいました。我が家の子供たちは、都合がわるくなると髭ダンスを踊ってごまかします。ついつい自分も踊ってしまします。



医師：三寺 隆之

好きな人物はプロレスラーの橋本真也選手です。もともと全日本プロレス派でしたが、天龍と橋本の絡みは、ザ・プロレスの感じがしてたまらない試合でした。早くして亡くなられましたが、当時の彼の試合は今見ても面白いです。



医師：糸山 智

田中角栄の世代ではありませんが、角栄の名言をまとめた本を読んだことがあります。沢山ある名言のうち「借った金は忘れるな。貸した金は忘れる。」が気に入っています。おそらく文脈があつての言葉だと思いますが、「金」とは「恩」のことかなと勝手に思っています。



医師：中山 昇

歴史には疎くて、人物も浮かばないのですが、最近NHKの大河ドラマの『麒麟がくる』で明智光秀イメージが、ただの裏切り者では無く描かれているようで、今度じっくり見たい感じです。

医療～豆知識～ コーナー 今月のテーマ：血圧とは？

医師：三寺 隆之



現在、日本人の高血圧患者数は1294万人。
30歳以上の男性43.7%、女性31%が高血圧と言われています。
では、血圧とは何なのでしょう？

血圧とは<血管壁に与える血圧の圧力>を示しています。
血圧=心拍出量×末梢血管抵抗 で決まります。



心拍出量には、循環血液量・心拍数・心収縮力など→心臓から出る血液量
末梢血管抵抗には、血管床面積・動脈壁弾性・血液粘度など→血液の流れにくさ

収縮期(上の血圧)は、心臓から押し出される力
拡張期(下の血圧)は、戻ってきた血液で心臓が広がる力

収縮期と拡張期の差を脈圧といい、これが大きいほど動脈硬化が進行している可能性が示唆されます。

心拍出量増加の代表は、体内にナトリウムが増加→体液濃度を一定に保つ→水分を増やす→血液が増加
末梢血管抵抗の代表は、動脈硬化→血管の弾力低下・内腔の狭小化

両方に関わる因子の代表は 交感神経の活性化→カテコラミン分泌→血圧上昇、腎臓に働きかけレニン分泌→血圧上昇
交感神経とは自律神経の中で興奮刺激を全身に伝える神経の事です。

つまり、起床したり、興奮したり、ショッパイ物食べたりすると血圧は上がるという原理です。
話は尽きませんが……今回はこの辺までにしたいと思います。少しでも血圧の仕組みが理解できれば、幸いです。

～連携室からのメッセージ～

このコーナーでは当グループ連携室スタッフからのメッセージを掲載致します。
今回は、連携室スタッフのご挨拶・ご紹介です。



◎相談員として、板橋区内の療養・リハビリ病院、他県の急性期病院を経て、板橋区役所前診療所での勤務が11年目になります。(相談員・松本)

◎前職では、他県で地域包括支援センター長を勤めていました。板橋区役所前診療所の勤務は5年目になりますが、精神保健福祉士の資格を活かして、一時は診療所グループ内で行っている休職者に対する復職支援業務を担当していました。どうぞよろしくお願いいたします。(相談員・平井)

